千葉南ロータリークラブ会報

THE Rotary Club of Chiba South

2026－27年度
国際ロータリー会長のメッセージ　「持続可能なインパクトを生み出そう」

設　立　1964年3月2日
会　長　髙橋　豊
例会日　毎週金曜日　12時30分
幹　事　赤峰　加功平
例会場　オークラ千葉ホテル
会報委員長　土谷　孝道
事務局　〒260－0027　千葉市中央区新田町12－1　トーシン千葉ビル7階　☎043－245－3204

第2943回

2026年8月28日(金)
点鐘12:30（曇り）

◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
◆四つのテスト
～言行はこれに照らしてから～
1. 真実か　どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか　どうか

お客様紹介

◆地区会員増強・退会防止委員会
委員長　鈴木　荘一様
◆第4グループガバナー補佐　大谷　京子様

会長挨拶及び報告　髙橋　豊会長



皆さんこんにちは。
本日は、第4グループ・大谷ガバナー補佐、ようこそお越し下さいました。また地区会員増強、退会防止委員会副委員長・鈴木様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

◆今井太志直前会長より
高雄博愛ロータリークラブより、「文昌筆」という台湾の縁起物の置物が贈られてきました。昨年6月に台湾を訪問した際にお土産を持参しまして、その返礼ということです。文昌筆には、「皆さんの仕事が順調に発展し、益々運気が上がりますように」という台湾からの祝福が込められています。

ご挨拶
第４グループガバナー補佐　大谷京子様

皆さんこんにちは。
千葉南クラブさんは、9月11日(金)はガバナー公式訪問です。第4グループ最初の公式訪問ということで、千葉南さんのやり方を第4グループの各クラブに伝えて行きたいと思います。当日は「皆さんが考える持続可能な奉仕活動」のテーマに沿ったディスカッションもありますのでよろしくお願い致します。
11月11日(水)は、第4グループ合同のゴルフ大会を開催致します。
11月27日は、第3・第4グループ合同のラーニングセミナーが開催されます。
来年、2月10日(水)は、第3・第4グループのインターシティーミーティングを行います。
よろしくお願い致します。

委員会報告

◆出席委員会より(鈴木美津江委員長)
2025-26年度下期皆出席賞　24名
◆社会奉仕委員会(須田裕一委員長)
8/30(日)「てらこやちば」とコラボして稲刈り事業があります。熱中症対策をしてご参加下さい。
◆会員増強委員会より(水野浩利委員長)
皆様のテーブルの上に会員紹介カードを置かせていただきました。ご協力、よろしくお願い致します。
◆ゴルフ同好会より(鎌形俊裕委員長)
9月16日(水)麻倉ゴルフ倶楽部にて
◆ちばZOOフェスタから協賛依頼(伊藤和夫会員)
ご協力、よろしくお願い致します



本日の卓話

『会員増強について』　地区会員増強・退会防止委員会　副委員長　鈴木　荘一様



ロータリーの未来をつくるため、会員増強・退会防止には「増やす・守る・生かす」という3つの視点が重要である。新しい仲間を迎える「会員増強」と、現在の会員が喜びや誇りを持って活動を続けられる「退会防止」を両輪として進めることで、持続可能なクラブの成長につながる。

会員増強が思うように進まない背景には、既存会員の意識、クラブ文化、入会後のフォロー、多様性への対応という4つの課題がある。増強の重要性を理解していても、仕事や家庭の忙しさから行動に移せないこと、新会員や若い世代が溶け込みにくい雰囲気、入会後の継続的なフォローやメンター制度の不足、女性や若い世代を含む多様な人材を十分に受け入れられていないことなどである。特に、新会員を「入会して終わり」にせず、その成長と参加意欲を支えることが退会防止の重要なポイントとなる。

第2790地区の過去10年間を見ると、会員数は緩やかな減少傾向にある。一部では増加に転じているものの、長期的には会員減少がクラブの活動力や地域への貢献力を弱める可能性がある。今後は40代を中心とする次世代リーダーを育成し、世代の空白を埋めながら10年先のクラブを考える必要がある。

増強に向けて大切なのが「ロータリーを伝える力」である。「ロータリーとは何かを優しく伝える」「活動の意義や仲間、成長の機会という魅力を伝える」「奉仕から信頼が生まれ、仲間と活動の輪が広がる成功の循環を伝える」という3つの力を、ビジネス・社会・個人の視点から説明することで、その価値はより伝わりやすくなる。

ロータリーの原点は、職業や社会活動で培った専門性、経験、倫理観を社会のために生かすことにある。奉仕は特別な活動だけではなく、倫理的な経営、若手育成、公正な取引、地域との協働など、日常の仕事の中でも実践できる。また奉仕は、社会から受けた恩恵を次世代へ還元するとともに、自らの成長や信頼、人生の充実にもつながる。

実際に、30代の建築家を古民家再生プロジェクトへ専門家として招いたことから、ロータリアンの職業を生かした奉仕への姿勢に共感し、入会につながった事例も紹介された。大切なのは、単に例会や懇親会へ誘うことではなく、まずロータリーの「志やミッション」に参加してもらうことである。会員同士が互いを知り、新しい仲間を迎え、育て、その力を生かす。この循環をクラブ全体でつくることが、会員増強と退会防止、そしてロータリーの未来につながっていく。

① 既存会員の意識の問題 - 忙しいが未来を奪う

多くの会員が**「増強の重要性」**を理解しているにもかかわらず、
実際の行動につながっていない。

その理由は明白です。



- **仕事や家庭が優先**され、クラブの未来を考える余裕がない。
- **「クラブの存続 ＝ 増強」**と誤解し、行動が止まっている。
- **「ロータリーの魅力」**を語れず、紹介の意欲が湧かない。
- **会費や時間の負担の大きさ**が、若い人への紹介をためらわせている。

つまり私たちは、**「忙しさ」**を理由に、
未来のメンバーを失っているのです。

② クラブ文化の問題 - 新しい人を歓迎できているか

新入会員が**「このクラブで続けたい」**と思えない理由



- **若い世代にとって魅力が感じられない**雰囲気。
- 大御所が幅を利かせ、**自由に意見を言えない**空気。
- 小規模クラブの**停滞感**。
- 名義会員のような**不健全な増強**方法。

招いても続かない。 なぜか？

自分が受け入れられているという**「感覚」**、
クラブに**「居場所」**あるという**"安心感"**がないからです。

③ 入会後のプロセスの問題 – 迎えた"その後"が続かない

ロータリーの扉を開けてもらった人を、
十分に支えられていない現状があります。



- 新会員を放置し、**フォロー**がない。
- **「ロータリーの理念・概念」**や**「楽しさ」**を伝える機会が不足。
- 頭数だけ揃えばよいという姿勢。
- 指導者の育成不足による**適切な伴走**ができていない。
- **ビジネス・社会・個人の3つの視点**が欠けている。

新会員が退会するのは、**"ロータリーがつまらないから"** ではありません。
クラブが成長を支えられていない からです。

④ 多様性の問題 – 開かれたクラブと言えるだろうか

クラブは本当に**「誰にとっても入りやすい場」**でしょうか。



- **会員の高齢化**が進み、**自然減**を止められない
- **女性会員**が極端に少なく、**歓迎されにくい**文化が残る
- 役職者の**男女比の偏り**
- **古い慣習**や**価値観**が、新しい世代を遠ざけている

ロータリーの理念は**「多様性」「公平性」「包摂性」**を
どこまで実現できているか、問われています。

3つの伝える力

1. **ロータリーを易しく伝える**
   誰でも理解できる
   〝わかるロータリー〟へ

2. **ロータリーの魅力を伝える**
   仲間、学び、成長、つながり、
   地域への貢献…

3. **成功の循環を伝える**
   恩恵を社会へ還流させるロールモデル

**ビジネス・社会
・個人の〝3つの視点〟**

- **ビジネスの視点**
  人脈・信頼・学び・専門性
- **社会の視点**
  地域貢献・公共性・持続可能性
- **個人の視点**
  成長・仲間・誇り・喜び

この3つを軸に伝えることで、
ロータリーの価値はより深く、
分かりやすく、
魅力的に伝わります。

なぜ「職業・社会活動」が重要なのか

社会的影響力

職業や社会活動組織を通じた活動は、地域経済や文化に直接的なインパクトを与え、大きな価値を生み出します。

倫理と責任

「四つのテスト」に代表される高い倫理観を実践し、社会からの信頼を獲得します。

多様性の力

異なる職業や社会活動組織の専門家が集まることで、創造的なアイデアと相互補完が生まれます。

ロータリーの社会的効果

成功観の再構築

「成功＝自己完結」

ではなく、

「他者貢献こそが成功の最終形」

という成熟した

価値観を広めます。

善意の連鎖

影響力ある人が語ることで、若者や地域の人々が

「自分も」と動き出し、

〝善意の循環〟

が加速します。

文化の醸成

「支え合い」

「公益優先」

の文化が育ち、信頼の源泉が経済力から人格へと移行します。

≪本日のニコニコボックス≫　35,000円　＜累計＞262,240円

○髙橋豊会長・赤峰加功平幹事
本日も例会参加、有難うございます。
先日の千葉豪雨の爪痕も消えぬうちに、北陸で豪雨災害が発生し、毎日のように自然災害のニュースが耳に入ってきます。謹んでお見舞い申し上げます。一日でも早い復興をお祈りいたします。
さて、本日は大谷ガバナー補佐にご出席いただくとともに、地区会員増強・退会防止委員会副委員長の鈴木荘一様には後ほど卓話をいただきます。楽しみにしております。

◎五十嵐博章会員
大谷ガバナー補佐、会員増強・退会防止委員会副委員長の鈴木様、ご来会有難うございます。貴重なお話を楽しみにしております。

○伊藤和夫会員
皆さんこんにちは！本日の卓話「会員増強について」地区会員増強・退会防止委員会副委員長の鈴木荘一様、いつもお世話になります。鈴木さんとは、ロータリーRLIの勉強会で一緒でした。
千葉南ロータリークラブの若手会員の方々、是非、RLIに参加して、ロータリーとは何かを勉強してください。
鈴木さん、私の作った米「虹のきらめき」をプレゼント致します。ご賞味下さい。

○今井太志会員
先週は欠席してしまい、申し訳ございませんでした。アメリカに航行しておりました。グランドキャニオン、モニュメントバレー、セドナなど大自然を楽しみ、最後はラスベガスでカジノをしました。10ドルも勝ちましたので皆様へオレオ（ハロウィンバージョン）を買って参りました。

○市川直人会員
何年かぶりで久々ですが、豪雨で気が滅入ってしまいましたので、ニコニコします。

○鎌形俊裕会員
明日、娘とミュージカル・バック・トゥ・ザ・フューチャーを観に行きます。普段は、電話をしても出てくれないのに、すごく嬉しいです。ニコニコ！

○須田裕一会員
先日、千葉市のバスケとボールチーム「アルティーツ千葉」の開幕前パーティーへ参加してきました。選手たちの自信に満ちた姿にパワーをいただきました。ガンバルゾ！

○常世田正弘会員
8月25日にゴルフ同好会コンペが姉ヶ崎カントリー倶楽部でありました。同伴メンバーに恵まれ、優勝することが出来ました。ロストもなくニコニコ致します。

○吉田裕成会員、出井清会員、斎藤昌雄会員
今年度の活動計画書が出来上がりました。今井年度の活動計画書とはまた違ったテーストの表紙で、どなたの年度かがわかる表紙の活動計画書です。製作に当たられた石倉さん、前島さん、ご苦労様でした。

○ゴルフ同好会
先日、ゴルフ同好会を姉ヶ崎カントリー倶楽部で開催致しました。熱中症と戦いながら、なんとか無事にラウンドできました。些少ですが会費の余りをニコニコさせていただきます。

○麻雀同好会一同
8月22日に大塚会員の作業場で麻雀同好会を行いました。いつもは、16時までなのですが、夏の思い出作りとして、22時まで打つことになりました。12時間以上打ったのは、雀荘で三瓶自身が働いていた35歳の時以来です。斎藤昌雄会員の一発ツモが連発したのも、夏の良い思い出になりました。
10半荘（はんチャン）分、ニコニコします。

出席報告（会員数６１名）

◆出席者数　４１名
◆欠席者数　２０名
◆ビジター　２名
◆修正出席率　8/14分　休会のため次回